

- 1 派遣期日 平成27年11月29日(日)
- 2 研修先 学校名(会場名) 熊谷文化創造館さくらめいと
所在地 〒360-0846 熊谷市拾六間111-1
<http://www.sakuramate.jp/>
- 3 研修内容

研究主題 瞬間的対応力と生徒指導力の向上

(1) 翔和学園編

～困った場面での具体的対応術～

○翔和学園とは

東京都中野区中央に所在。社会性を学び、生きる気力を育てる学校である。小中学部、高等部、大学部とそれぞれの段階で、「社会性を学び、集団の中で生きる力を身に付ける」ことを目的としている。心理、医療、就労の専門家や保護者との連携により、学習場面や生活場面で困難を抱える子どもの早期発見・療育から就労、そして自立までの一貫した支援の実現を目指している。

講座1 授業中に問題行動発生 こんな時どうする具体的対応術

翔和学園で実際に起きたトラブル場面や事件現場を再現。翔和学園の先生はどのような手立てをとったのか。その具体的な対応を再現する。

●アスペルガー症候群の生徒A男のケース

こだわりが強く、社会性やコミュニケーション、想像の力に障害がある。学習に集中できず騒いだり、周囲の生徒や教師に対して暴言をはいたり、勝手に帰宅したりしてしまう。ただし、愛着障害のため、教師とやりとりすることに欲求がある。

〈対応〉

- ・大原則として、どんな行動をとるべきかを具体的に教える。やること、目標場面を示す。
- ・へらしたい困ったことは無視する。
- ・増やしたい良いことができたならほめる。
- ・絶対だめな行動は止める。
- ・へらしたい行動は、その生徒の背景から考える。

〈仮説〉

翔和学園の取組としては…

- ・音楽能力の向上→コミュニケーション能力の向上につながると考えている。

①鍵盤ハーモニカまね吹き

教師や周りを見るようになる。→苦手なところができるようになる。

講座2 行事指導でトラブル発生 応用可能な打つべき手立て

「文化祭」「卒業式」「合宿」などの行事がたくさんある翔和学園。生徒が一体となり、最後は涙を流す。感動的な行事にいたるまでにどのような方法をとってきたのか。またトラブルにどのように対処してきたのか。応用可能なかたちで話をする。

〈トラブルの定義〉

通常の場合は…

- ・他の生徒への影響があること。

- ・その生徒の成長を阻害すること。
- 翔和学園の場合は…
- ・目標場면을妨げる要因となること。

〈対応〉

- ・偶発の問題を即座に処理する。
- ・最後までやり通させる。

〈仮説〉

体育祭の目標場面…生徒と保護者に満足感をもたせる。

⑦リレーで、3周もの大差がつく。→残りは、生徒や教師など走りたい人全員で走る。

講座3 翔和学園最前線

「ASD」「ADHD」「情緒障害」など、発達障害の子どもたちが集う翔和学園。学園内で生徒は大きく変容を遂げ、「奇跡の学園」と呼ばれている。その教育の最前線を伝える。

〈ギフテッド教育〉

良いところを伸ばす。特異な才能を見つける。(普通は、なかなか見つけられない)
発達の凸凹の凸の部分の良いところをとことん伸ばすという発想である。そのためには、まず、自分史・家庭環境・趣味・趣向などを洗い出す「ギフテッドカルテ」を作成する。

(2) 参加者参画編

～講師陣が的確なアドバイス～

講座4 困った場면을切り抜ける 映像クリニック

「授業を妨害する子がいる」「すぐに友だちとトラブルになってしまう」などの事案に対し、講師陣が、「どんな手立てを打てばよかったのか」学級にあった的確なアドバイスをを行う。

講座5 「困ったあの子」を変容させる ライブケース会議

クラスにいる「不適応行動の多い子」を変容するまでの手立てをアドバイスする。

(3) 長谷川先生編

～積極的指導 やんちゃな男子・女生徒にはこう対応せよ～

講座6 荒れた学校に異動。その1週間でどう過ごしたのか。そして、生徒との関係をつくるためにどのようなことを行ってきたのか。具体的に説明をする。

講座7 実録 長谷川学級最前線

学級を立て直し、そして学校を立て直している長谷川先生。現在進行形で行われている教育の一環について語る。

4 感想

発達障害のある児童生徒が多く通う翔和学園で起きる様々な問題に対しての具体的な対応や力を入れて取り組んでいる「ギフテッド教育」という、子どもたちの良いところや特異な才能をより伸ばしていく指導法について話を聞くことができ大変勉強になった。また、荒れた中学校に多く赴任し、その立て直しに尽力している長谷川博之先生の実践的な話から、子どもを引きつける授業力と統率力の大切さについて改めて考えさせられた。